

大雨や台風シーズンに向け 排水ポンプ車操作訓練

梅雨期や台風シーズンの前に、大雨等で街にあふれた雨水を迅速に排水する事が出来る「排水ポンプ車」を使った排水訓練を高松市内のため池で行いました。

- 【訓練日】 ◆平成29年5月30日（火）
【場所】 ◆公渕池(きんぶちいけ) (香川県公渕森林公園内：高松市東植田町地先)
【訓練車両】 ◆排水ポンプ車 (高揚程型) 毎分30立方メートル 1台
◆排水ポンプ車 毎分30立方メートル 3台
◆照明車 2kW×6灯 2台
【参加者】 ◆災害時の応急対策に関する協定締結の建設業者 16社
◆河川維持工事受注の建設業者(1社は上記と重複) 2社
◆香川県内に在勤する四国地方整備局職員



この訓練は、平成18年度より毎年この時期に四国技術事務所と香川河川国道事務所が合同で行っているもので、四国地方整備局職員や県内の建設会社の社員、70人が参加しました。

参加者は、それぞれ数人の班に分かれ、取扱説明や注意事項を聞き、重さ30kg程のポンプとホースを接続し池に運び排水させました。

当日高松市内では気温31度となる中、本番を想定して排水ポンプの設営や排水操作、また機器に不具合がないかなどを確認しました。



照明車は、夜間の排水作業を監視します。